

多様な価値観に触れ、感じる機会を

金魚の町として知られる城下町・奈良県大和郡山市で、町おこしに取り組む団体の活動に携わっています。今回は郡山八幡神社の境内で催された、着物を洋服とミックスして楽しもうというイベントに5人の学生が参加しました。境内の一角に子どものための屋台を設営。射的や金魚すくい、ボールゲームなどで遊ぶ子どもたちや、イベントに参加する人たちの対応などを行いました。このイベントは着物と洋服を重ね着したり、ブーツやハットを合わせたり、着物の自由な着こなしを提案するもので、会場にも思い思いに着物を着こなしの人たちが集まり、老若男女でおおいに賑わい盛り上がりしました。

参加にあたって、学生たちに具体的な「学ぶべき課題」を示しません。教員が課題を与えると、学生はどうしてもそのことだけに意識が向いてしまいます。そうではなく、学生が自分自身をセンサーにしてそれぞれに何かを感じてほしい。教室での講義では実感しにくい、多様な価値観に出合っしてほしいとの思いから、学生たちを連れ出す場を提供しています。大学での学びを社会の中で見つめ直したり、社会で見聞きし、感じたことを大学に持ち帰って、今後の学びに活かしてくれたらと思っています。



学生たちもレンタルの着物を着て会場の風景に溶け込んでいました。神社という場、着物を介して集い楽しむ人たち。こういう世界もあると知るだけでもいいし、何かしら自分の発見につながればいいですね。

社会学部 総合社会学科
専門分野 / 社会心理学・地域ブランド戦略
中原 洪二郎 教授
NAKAHARA Kojiro

【総合社会学科】

実社会で
感じる



参加して感じたことを共有します。

掲載の内容は、2019年2月に実施されたものです

総合社会学科のフィールド・アクティビティ

- ケーブルテレビで放送される番組づくり
- 地域の子どもたちを対象としたデザインワークショップの運営
- 知的障害のある人たちとのスポーツ活動の推進
- 奈良のお土産や特産品の開発と活用
- 商店街の活性化活動への協力
- それぞれのゼミの特徴を活かした学外研修